



神谷 利盛 議員

第六次高浜市総合計画
[2011～2016] (H25)

問 地域活性化を目的に観光事業に力を入れていくとのことだが、対象が高浜市民約4万6千人となっている。本来なら市外から多くの観光客を集め、高浜市にお金を落としてもらおう仕組みを作るべきでは。

答 まず、高浜市民への観光事業のPRを優先している。今後は市外から、より多くの観光客を呼びこめるよう、アクションプランに反映させていく。

問 地場産振興事業のうち、三州瓦屋根工事奨励補助金に毎年相当額の補助金を出しているが、いつから、いくら出し、その効果をどのように把握しているのか。また、いつまで続けるのか。

答 平成8年度から年平均1千7百万円。別に、展示会・開発支援に年4百万円ほど出している。効果は、全国シェアを指標としており、平成25年度では、

うわ葉瓦で72・2%。いぶし瓦で41・99%。出荷枚数は、過去5年平均で68%の支援効果があったと判断している。三州瓦業界は、高浜市の地場産業であり、当面は、いつまで継続するかの議論に入るべきでないと判断している。しかし、支援と効果はきちんと把握し、必要に応じた見直しを図っていく。

「アシタのたかはま研究所」
2015年

問 設置の背景・目的・体制は。自治体に潜在する中長期的・分野横断的な課題に対し、集中的に調査研究する機関で、副市長が責任者になっている。

問 「NEXTたかはま」では、25年後には896の自治体が消滅するとあるが、高浜市も含まれるのか。

答 今は含まれないが、今後含まれることの無いよう調査・研究を行っていく。

問 ICT化がさらに進んでいくが、市職員の数はそれ相応に減らしていくのか。

答 退職補充者との均衡を勘案し、採用人数を判断していく。



柴田 耕一 議員

交通安全対策について

問 交通事故の現状と安全対策について。

答 愛知県の交通事故死亡者数は、12年連続の全国ワースト1位と厳しい状況ですが、本市においては、1月から7月までの7カ月間で、死亡0件、重傷4件、軽傷106件、計110件です。事故別では、車対車が72件、自転車対車が13件、二輪車対車が11件、人対車が10件、単独が4件となっております。学区別では、高浜小学校区31件、吉浜小学校区27件、翼小学校区23件、港小学校区19件、高取小学校区10件となっております。

このような状況を踏まえ、高浜市交通安全協会、高浜市交通安全指導委員会、碧南警察署等と連携し、交通安全市民運動、ライド&ライト関所活動、高齢者交通安全講話、母親クラブ交通安全街頭啓発活動、幼稚園・保育園・幼稚園等に対し交通安全

全教室、交通死亡事故ゼロの日、早朝パトロール及び立哨活動等、継続性をもって地道に活動を重ねていくことが、交通事故の抑制、交通安全対策に繋がっていくと考えている。

問 今年6月1日より、自転車違反を厳しく取り締まる道路交通法の改正が行われたが、免許を持っていない人や子ども達への、標識教育、交通ルール等、自転車の安全な利用取組について。

答 自転車事故を防止するには、自転車利用者に対して交通ルールの徹底を図っていくことが、必要不可欠であるとの考えから、14歳以上を対象に、14項目の危険行為に対し、違反行為を繰り返すと、自転車運転者講習受講が義務付けられ、命令に従わない場合は、5万円以下の罰金が科せられる法改正が行われました。当市は、全ての小学校で、自転車安全教室を、中学校・高校では、チャレンジ自転車無事故無違反ラリー等を、高齢者には、自転車乗り方やマナー講演等、自転車の安全な利用について周知徹底に努めています。今後も、交通安全協会、交通指導委員会、碧南警察署等、関係機関と連携し、継続的、積極的に取り組んでいきます。